

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	オンデマンド:前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	講義	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報社会と情報倫理 (英文名) Information Society and Related Ethics				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 竹口 幸志 (ローマ字) TAKEGUCHI Koji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	2年次		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	2年次	
16. 曜日・時限	オンデマンドによるe-Learningのため 曜日・時限は関係ない。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	05247100
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	情報倫理, 情報社会, 知的財産, 個人情報, セキュリティ, 職業 Ethics, Society, intellectual property, personal information, Security, profession				
21. 授業概要	本講義では, 情報やメディアの特性, 著作権, 産業財産権, 個人情報の保護, 表現の自由, 情報セキュ リティ, 情報社会における職業・倫理等について学ぶ。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	本講義の目的は, 情報社会の現状や課題について検討・理解することを通して, これからの情報社会を 創造・参画するための態度を養うことにある。情報社会に起こる様々な事象を認識し, 俯瞰的な視野を もち, 自ら考え, 行動するための考えを深める。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	①情報社会に対する認識について, 行政, 法律, 技術, 等の歴史的背景から捉えることができる。 ②情報社会で重要な政策, 法律(判例を含む)について理解している。 ③これからの情報社会に求められる倫理(職業人としてを含む)を考え, 創造と参画に向けた行動を行 うことができる。				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授 業計画並びに授業及 び学習の方法	<p>第1回 情報社会の実態を捉えること、について考える</p> <p>第2回 情報技術の歴史的変遷の分析と考察</p> <p>第3回 情報政策の歴史的変遷の分析と考察</p> <p>第4回 著作権(著作物の保護と利用について考える)</p> <p>第5回 産業財産権の保護と活用について考える</p> <p>第6回 個人情報の保護と適正な利用について考える</p> <p>第7回 情報の発信について考える(表現の自由とプライバシー保護を考える)</p> <p>第8回 情報保障について考える</p> <p>第9回 仮想現実, 仮想空間における情報倫理の検討</p> <p>第10回 情報セキュリティの原則と考え方</p> <p>第11回 情報セキュリティ対策と課題</p> <p>第12回 人間とテクノロジー(サイバネティクス等について)</p> <p>第13回 人工知能(AI)の社会的利用を考える</p> <p>第14回 情報社会における職業倫理</p> <p>第15回 総括</p>	□
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	<p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>政策, 法律, 技術, 等, 情報社会に関連する様々なキーワードが登場します。これらのキーワードを事前に学習したり, 復習して理解することをお勧めします。また, 行政政策, 法律, 技術報告書, 新聞記事などを読み, 最新の事例に触れることで情報社会を創造・参画する態度がより養われると思います。</p>	□
28. 成績評価の方法 と基準	<p>成績評価の方法は, ディスカッション, 小テスト, レポートです。これらの評価方法を通して, 学修理解度, 興味関心, 情報社会に参画・創造する態度が養われていることを評価します。学修には真摯な態度で取り組んでいただけると幸いです。成績評価の基準としては, ディスカッション(30%), 小テスト(30%), レポート(40%)です。なお, 以下の事項に注意してください。</p> <p>注1: 指定された期日を過ぎて課題(ディスカッション, 小テスト, レポート)を提出した場合, 提出された課題は採点の対象外(加点しない)となります。必ず期日内に提出してください。</p> <p>注2: 課題(ディスカッション, 小テスト, レポート)にはすべて解答してください。解答されていない箇所がある場合, 当該箇所は採点の対象外(加点しない)となります。</p> <p>注3: 質疑や学習のフィードバック: 適宜行いますが, 内容に応じて回答に時間を要する場合があります。</p>	□
29. 再試験の有無	再試験は行いません。	□
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>e-Learning形式による授業のため基礎的なコンピュータの操作や文章処理ソフトウェア等の使用は必須です。インターネットブラウザの操作や文章作成ソフトの操作等ができることを前提に講義を行いますので, 操作に不安がある場合は, 所属大学の情報センターヘルプデスクまたは教務にご相談ください。</p> <p>なお, 本講義は主として大学に設置される学生用のコンピュータールームでの受講を想定して作成されています。家庭用パソコン, スマートフォン, タブレット等の情報機器による講義の視聴は担保されておりま</p>	□

	<p>せんで注意してください。これらの機器で見た場合、不具合が生じる場合があります。</p> <p>受講人数制限:あり</p> <p>香川大学20名・徳島大学20名・鳴門教育大学20名・高知大学20名・愛媛大学20名</p> <p>※制限ありの場合、10名以上で設定</p>				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ/履修希望学生に求めるもの	受講期間について	<p>教務または学習管理システム(Moodle)を通じて通達します。</p> <p>受講期間を十分に確認して受講してください。</p>		<input type="checkbox"/>	
	学習管理システム(Moodle)における講義への自己登録について	<p>履修登録に加えて、学習管理システム(Moodle)から講義の自己登録も必要となります。自己登録キーの受け取りと登録方法については、教務または担当教員にお問い合わせください。</p>			
	受講の辞退について	<p>受講調整期間中または履修取消期間中に所属大学教務で手続きしてください。手続きが行われない場合、受講者として捉え、受講督促を行う場合があります。</p>			
	禁止事項について	<p>なりすましによる受講と受験、レポート盗用、コンピュータ内への動画の保存・蓄積、インターネット上への無断配信・共有、掲示板における教職員、学生への誹謗中傷等。これらの不正行為が発見された場合、大学の規定に基づき厳正に対処します。</p>			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書は特に指定しない。必要に応じて講義中に資料を配布する。			<input type="checkbox"/>	
	教科書1	書名			
		ISBN	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名			
		ISBN	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		
	参考書2	書名			
		ISBN	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		
	参考書3	書名			
		ISBN	著者名		
		出版社	出版年		
		金額	備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし			<input type="checkbox"/>	
	<p>四国5国立大学による連携教職課程ホームページ</p> <p>https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html</p>				
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	なし	<input type="checkbox"/>	

37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。必要に応じて対面またはテレビ会議システム等を用いて対応します。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(ktakeguchi@naruto-u.ac.jp)で問い合わせてください。必要に応じて対面またはテレビ会議システム等を用いて対応します。 【教務に関する質問事項】は、所属大学の教務に問い合わせてください。 【技術的トラブル】は、所属大学の情報センターまたはヘルプデスクに問い合わせてください。	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	Mail: ktakeguchi@naruto-u.ac.jp	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	音声付き動画あり		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド型遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) インターネット社会のための情報倫理 (英文名) Information Ethics for the Internet Society				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)河村 泰之 (ローマ字) Yasuyuki Kawamura				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	1		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	1～		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～	
16. 曜日・時限	オンデマンド		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	情報倫理、情報セキュリティ、情報社会 Information Ethics、Information Security、information society				
21. 授業概要	インターネット社会における倫理観とはどのようなものかを把握し、その中で快適に暮らしていくために 倫理観がいかに大事であるかを理解する。 また、情報科教員として、情報倫理には、日常の倫理だけでなく技術的な知識も必要であることを確認 する。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高等学校教科「情報」の教職科目である。情報倫理と情報倫理に関わる技術について、情報科教員に なったときに授業するために必要な基本的な知識を身につけることを目的とする。				☑
23. 授業の到達目標 ／学修課題	情報社会でよく話題にされる情報倫理について概要を述べることができる。 情報倫理に関わる基本的な情報技術を理解し、説明できる。 関連する時事問題について述べることができる。				☑

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																											
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																											
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 ガイダンス 第2回 インターネット社会と情報倫理 第3回 個人情報と知的財産権 第4回 ネットコミュニケーション 第5回 情報社会における生活 第6回 情報セキュリティとネット被害 第7回 最近の話題 第8回 まとめ				<input checked="" type="checkbox"/>																						
27. 授業時間外学習にかかわる情報	事前学習として30時間、事後学習として30時間 課題が与えられたとき、各自で調べ学習の時間が必要となる。 また、レポート課題の作成は時間外に行う必要がある。				<input checked="" type="checkbox"/>																						
28. 成績評価の方法と基準	課題(100%)の取り組み方等をもとに総合的に評価する。				<input checked="" type="checkbox"/>																						
29. 再試験の有無	無				<input checked="" type="checkbox"/>																						
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし				<input checked="" type="checkbox"/>																						
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	課題を全て期限内に提出すること。 一つでも提出がない場合、成績は「不可」または「評価しない」とする。				<input checked="" type="checkbox"/>																						
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">書名</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					書名	なし			教科書1	ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考						<input checked="" type="checkbox"/>
	書名	なし																									
教科書1	ISBN		著者名																								
	出版社		出版年																								
	金額		備考																								

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版			☑
		ISBN	978-4-407-34621-3	著者名		
		出版社	実教出版	出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編			
		ISBN		著者名		
		出版社	開隆堂出版	出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし				☑	
35. パソコン必要度	各自の作業に必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		☑	
37. 教員相互参観授業公開日程					☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	月曜 12:40-14:10			☑	
	連携大学 学生向け	Moodle			☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodle			☑	
	連携大学 学生向け	Moodle			☑	
40. 教員の実務経験について	高等学校での実務経験のある教員が授業を行う。				☑	
41. バリアフリー対応	非対応				☑	
42. その他／備考	なし				☐	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド型遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報変革と職業				
	(英文名) Digital Transformation and business				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員ロ ーマ字表記)	(日本語)山口 直木				
	(ローマ字)YAMAGUCHI Naoki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生	学部2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次	
16. 曜日・時限	時間外		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	情報変革、教育のICT化、社会・職業の変化				
21. 授業概要	情報変革による社会、企業や教育現場の変化、およびそれに伴う職業とその指導について講義を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	情報変革による社会、企業や教育現場の変化、およびそれに伴う職業とその指導を理解し、その内容を説明できるようになること。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	情報変革による社会や教育現場の変化、およびそれに伴う職業とその指導を習得するために、学習内容を理解し、その内容を説明できるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)	
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>授業計画</p> <p>第1回:授業概要と学習方法</p> <p>第2回:社会・企業における情報変革:Digital Transformation(以下DX)の現状</p> <p>第3回:DXの事例</p> <p>第4回:DXを支える技術:CPS、AI、IoTなど</p> <p>第5回:DXを支える技術:セキュリティ、ネットワークなど</p> <p>第6回:DXとデータ分析</p> <p>第7回:政策としてのDX</p> <p>第8回:デジタル社会での働き方の変化</p> <p>第9回:デジタル社会で必要となる人材</p> <p>第10回:デジタル社会で生きる職業人の考察</p> <p>第11回:教育現場のデジタル化の実例</p> <p>第12回:データマネジメントと個人情報保護</p> <p>第13回:教育現場のデジタル化と職業指導への影響</p> <p>第14回:AIの発展による影響とその問題点</p> <p>第15回:全体のまとめとレポートによる振り返り</p> <p>定期試験は行わない。</p>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>事前学習として30時間、事後学習として30時間</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>授業内で提示されたレポート題に対して、関連情報を収集し、それらを整理・統合するとともに、自分なりの教育的解釈を深めつつ、成果物を作成するようにして下さい。</p>
28. 成績評価の方法と基準	各授業の確認レポートと最終レポートで評価する
29. 再試験の有無	無
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	特になし

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。 連絡、問い合わせ等は電子メール(naoki@stg.takamatsu-u.ac.jp)にて受け付けます。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	特に設けない。 連絡、問い合わせ等は電子メール(naoki@stg.takamatsu-u.ac.jp)にて受け付けます。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	naoki@stg.takamatsu-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	naoki@stg.takamatsu-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	該当せず				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	該当せず				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	双方向	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報・職業				
	(英文名) Information and Careers				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 黒田 勉				
	(ローマ字) Tsutomu Kuroda				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次・教育学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次	
16. 曜日・時限	夏季集中講義期間		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	社会生活, 職業指導, 情報技術の活用 Social Life, Career Guidance, Application of Information Technology				
21. 授業概要	情報社会での生活、情報社会と高等教育、情報技術と社会の変革、情報技術と人材育成、国際化、メディアの活用について概説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	情報社会での生活、情報社会と高等教育、情報技術と社会の変革、情報技術と人材育成、国際化、メディアの活用について概説し、就職・進路指導方法について、情報化社会を高校生に理解させる方法について理解するとともに、それぞれの項目についての内容を、生徒に指導できるようになる。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	各項目についての内容を、生徒に指導できるようになること。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回: 情報化社会と職業: 本講義の意義 —自己学習課題: 何故教職を目指すのか—</p> <p>第2回: 情報化社会と職業: 産業界の体質変化</p> <p>第3回: 情報化社会と職業: 職業指導と雇用制度</p> <p>第4回: 情報化社会と私たちの生活: 危機管理</p> <p>第5回: 情報化社会と私たちの生活: 高齢化社会と学習社会</p> <p>第6回: 情報化社会と高等教育: 生涯学習</p> <p>第7回: 情報化社会と高等教育: 授業計画の作成</p> <p>第8回: 情報技術と社会の変革: 情報と情報通信技術</p> <p>第9回: 情報技術と人材育成: 資格とその認知・情報産業</p> <p>第10回: 情報社会と国際化/グローバル化: 情報技術革命とは・インターネット</p> <p>第11回: 情報社会と国際化/グローバル化: 国際規格とグローバル化 —自己学習課題: 指導案の立案</p> <p>第12回: 情報社会と国際化/グローバル化: ビジネスモデルと倫理</p> <p>第13回: 情報技術とメディアの活用: 情報技術を利用した協働</p> <p>第14回: 情報技術とメディアの活用: 情報技術と消費行動 —自己学習課題: 情報化社会について—</p> <p>第15回: 情報技術とメディアの活用: 知的財産の保護と活用 —自己学習課題: 相互評価を行う—</p>	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	近年の、身の回りで起こったネットワーク環境での様々な社会問題について、興味関心を持ち続けることが求められます。	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	必要に応じて演習・討論を行ったレポートの提出、講義末の課題に対するレポートによる。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	なし	<input checked="" type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限: なし	<input type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	単位認定は、提出されたレポートの評価で行う。自分の見解を補足する生成型AI等の利用は、可能だが、利用した箇所(キーワード等)を明記しておくこと。			<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="371 322 1414 519"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">情報と職業</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>978-4-621-07091-8</td> <td>著者名</td> <td>近藤 勲</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>丸善出版</td> <td>出版年</td> <td>2002</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>3190</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名	情報と職業			ISBN	978-4-621-07091-8	著者名	近藤 勲	出版社	丸善出版	出版年	2002	金額	3190	備考		<input checked="" type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名	情報と職業																																																					
	ISBN	978-4-621-07091-8	著者名		近藤 勲																																																		
	出版社	丸善出版	出版年		2002																																																		
	金額	3190	備考																																																				
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1" data-bbox="371 562 1414 1160"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書2	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
参考書3	書名																																																						
	ISBN		著者名																																																				
	出版社		出版年																																																				
	金額		備考																																																				
34. Webテキスト(URL・説明)	<p>四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html</p>			<input type="checkbox"/>																																																			
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()	<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>																																																			
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	木曜日18時～19時		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 必要に応じてメールください。		<input checked="" type="checkbox"/>																																																			
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kuroda.tsutomu@kagawa-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>																																																			
	連携大学 学生向け	kuroda.tsutomu@kagawa-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>																																																			
40. 教員の実務経験について	なし			<input type="checkbox"/>																																																			

41. バリアフリー対応	非対応	<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし	<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報社会の発展と職業 (英文名) Development of the information society and vocation				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 大西義浩 (ローマ字) OHNISHI Yoshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	愛媛大学必修	
14. 対象学生	学部3年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド遠隔授業は曜日・時限は 関係なし。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	情報変革と職業(鳴門教育 大学) 情報・職業(香川大学)
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	1. 情報技術 (Information Technology) 2. 情報関連の職種 (Information-Related Careers) 3. 進路指導能力 (Career Guidance Skills)				
21. 授業概要	この授業では、情報技術の発展が社会や産業に及ぼす影響について学び、IT活用の可能性や課題を 実践的に理解することを目指す。サービス業、製造業、社会基盤といった具体的な分野を事例として取 り上げ、情報技術の役割を学ぶとともに、現代社会におけるITの負の側面やリスクについても考察す る。また、情報技術導入における戦略の立案や設備選定、維持コストやリスクの検討を行う。これによ り、IT導入における現実的な意思決定や課題解決能力を養う。さらに、情報関連分野の職種やキャリア パスについて学び、進路指導や模擬面接を通じて、実際の進路選択やキャリア形成に役立つ実践的な スキルを習得する。 <input checked="" type="checkbox"/>				

22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	本授業は情報技術が実社会でどのように使われており、また、情報関連の職種にはどのようなものがあるかを知ることで、「情報」の教員としての授業実践力および生徒への進路指導等を行なえる能力を身につけることを目的とする。	<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	以下の項目を理解し、 ・情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響 ・望ましい情報社会の発展 ・情報社会の将来と情報産業 情報化により生活や社会がどう変わり、どのような職業が出現したかを考える。	<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	すべてオンデマンド遠隔授業として実施する。 第1回: ガイダンス 第2回: 情報技術の発展と社会の変化 第3回: サービス業における情報技術 第4回: 製造業における情報技術 第5回: 社会基盤における情報技術 第6回: ワーク(課題説明・戦略作成) 第7回: ワーク(設備の検討) 第8回: ワーク(維持コスト検討) 第9回: ワーク(リスク検討) 第10回: ワーク(発表準備と仕上げ) 第11回: 情報技術発展に伴う負の面について 第12回: 情報関連の職種とキャリアパス 第13回: 進路指導について 第14回: 模擬面接指導 第15回: 最終レポート作成	<input checked="" type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	事前学習として30時間、事後学習として30時間を必要とする。 【自学自習のためのアドバイス】 ワークにおいては必要な調査、準備を行う。 各業種における情報技術の活用を自主的に調査する。 いずれも、webや新聞等、情報の教員として様々なツールから情報を収集すること。	<input checked="" type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	最終レポート(40%)および各回のレポート課題(60%)によって総合評価する。 注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。	<input checked="" type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	<input checked="" type="checkbox"/>

30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし		<input checked="" type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は定められた期日内に提出すること。		<input checked="" type="checkbox"/>
32. 教科書(購入の必要のある図書)	特になし。テキストは配布する。		<input checked="" type="checkbox"/>
33. 教科書・参考書に関する補足情報	特になし		<input checked="" type="checkbox"/>
34. Web テキスト(URL・説明)	愛媛大学Moodleを通じて指示する。 四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html		<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目 なし	<input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	字幕つき動画を提供する。		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド型・双方向型遠隔授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) ヒューマンインタフェース (英文名) Human Interface				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 山田貴志 (ローマ字) YAMADA Takashi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分		
14. 対象学生	学部3年次生・教育学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド型遠隔授業(第1回～第12 回、第15回)は曜日・時限に関係なし。 双方向型遠隔授業(第13回・第14回)は 7月第1週土曜日(第13回8:50～10: 20、第14回10:30～12:00)に実施す る。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	電気工学Ⅰ・Ⅱ	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	(1)インタフェース (2)コンピュータ (3)コミュニケーション (1)Interface (2)Computer (3)Communication				
21. 授業概要	人間と情報機械、情報機械を介した人間と人間のインタラクションを円滑にし、コミュニケーションを支援 することがヒューマンインタフェースの主要な目的である。本授業では、この目的を達成する過程でのイ ンタラクションに焦点を当て、スイッチ、情報システムとしての人間、インタラクションの要素としてのコン ピュータ、インタフェースのデザイン・評価について実習を交えて概説するとともに、先進的インタフェ ースについて紹介する。				<input type="checkbox"/>

22. 授業の目的及び主旨／授業科目の主題	本授業では、興味・関心のあるヒューマンインタフェースについて自ら調査・発表することで、能動的にヒューマンインタフェースの本質を理解することを目的とする。	<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標／学修課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ヒューマンインタフェースの概念を説明できる。 2. 情報システムとしての人間に関する考え方を習得できる。 3. インタラクションの要素としてのコンピュータに関する基礎的な知識を習得できる。 4. インタフェースのデザイン・評価に関する基礎的な知識を習得できる。 5. ヒューマンインタフェースの可能性を表現できる。 	<input type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ヒューマンインタフェースの概要</p> <p>第2回 スイッチ(1)電気機器の3つの要素</p> <p>第3回 スイッチ(2)ダイオード</p> <p>第4回 スイッチ(3)論理回路</p> <p>第5回 情報システムとしての人間(1)認知特性</p> <p>第6回 情報システムとしての人間(2)バーチャルリアリティ</p> <p>第7回 インタラクションの要素としてのコンピュータ(1)センサ</p> <p>第8回 インタラクションの要素としてのコンピュータ(2)入力機器とのインタラクション</p> <p>第9回 インタラクションの要素としてのコンピュータ(3)アクチュエータ</p> <p>第10回 インタラクションの要素としてのコンピュータ(4)出力機器とのインタラクション</p> <p>第11回 インタフェースのデザイン・評価(1)デザインの技法</p> <p>第12回 インタフェースのデザイン・評価(2)評価の技法</p> <p>第13回 先進的インタフェースのトピックス(1)発表</p> <p>第14回 先進的インタフェースのトピックス(2)全体交流</p> <p>第15回 まとめ</p>	<input type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予習や復習のために、事前・事後学習3時間の自学自習を推奨する。 2. 授業毎に課されるレポートの内容はLMSで確認すること。 3. 双方向型遠隔授業で発表することを意識しながら、レポートの作成に取り組むこと。 	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	<p>授業毎に課されるレポートの完成度(80%)および双方向型遠隔授業の意欲・態度(20%)の成績を総合的に評価する。</p> <p>注1: 指定された期日を過ぎてレポートを提出した場合、提出されたレポートは採点の対象外となる。</p> <p>注2: 双方向型遠隔授業の欠席者に対する補講は行わない。</p>	<input type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし	<input type="checkbox"/>

31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課されるレポートは指定された期日までに提出すること。			<input type="checkbox"/>		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	なし			<input type="checkbox"/>		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	ヒューマンインタフェース		<input type="checkbox"/>	
		ISBN	4-274-07860-4	著者名		田村博
		出版社	オーム社	出版年		1998
		金額	5,500	備考		
	参考書2	書名	バーチャルリアリティ学			
		ISBN	978-4-7693-5183-2	著者名		日本バーチャルリアリティ学会
		出版社	工業調査会	出版年		2010
		金額	3,800	備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html			<input type="checkbox"/>		
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	<input type="checkbox"/>		
37. 教員相互参観授業公開日程				<input type="checkbox"/>		
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 毎週金曜4限目。または、電子メール(yamada.takashi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(yamada.takashi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。		<input type="checkbox"/>		
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: yamada.takashi@kagawa-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>		
	連携大学 学生向け	Mail: yamada.takashi@kagawa-u.ac.jp		<input type="checkbox"/>		
40. 教員の実務経験について	専門学校と工業高等専門学校での勤務経験がある。情報教育や工業教育に携わってきた実務経験をもとに、授業を行う。			<input type="checkbox"/>		
41. バリアフリー対応	非対応			<input type="checkbox"/>		
42. その他／備考	なし			<input type="checkbox"/>		

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) プログラミング言語 I (英文名) Programming Language I				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 河村 泰之 (ローマ字) KAWAMURA Yasuyuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	1～		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	1～	
16. 曜日・時限	オンデマンド		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	プログラミング、構造化プログラミング、関数 Programming、structured programming、function				
21. 授業概要	この授業では、実技演習を通して、高校におけるプログラミング教育の指導に必要な基礎的な知識、技能を身につける。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高等学校教科「情報」に関する教職科目である。プログラミングを含む授業をするためには、自身もプログラミングスキルを身につけておくことが求められる。本授業ではその基礎を学ぶ。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	構造化プログラミングの考え方でプログラムが書ける。 条件分岐、繰り返し、配列・リストなどの基本的な考え方を身につける。 関数の考え方を身につけ、再帰を使ったプログラムが書ける。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)	
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)	
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>プログラミングを身につけるときの、順序はあまり重要ではなく、各回の内容は目安である。記載されているより先にその内容を取り扱うこともあることに留意しておく。</p> <p>第1回 ガイダンス 第2回 単純な式や変数の扱い 第3回 構造化プログラミング:主に条件分岐 第4回 構造化プログラミング:主に繰り返し 第5回 配列・リスト 第6回 条件分岐と繰り返しを含んだ演習 第7回 関数の基本 第8回 中間試験 第9回 関数 第10回 関数の演習 第11回 再帰関数 第12回 ファイル操作 第13回 総合課題 第14回 最終課題 第15回 期末試験</p>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>事前学習として30時間、事後学習として30時間 プログラミングスキルを身につけるには、十分な時間を取って演習に取り組むことが求められる。 特に、プログラムは読めるだけでなく、書けるようにならなければならない。</p>
28. 成績評価の方法と基準	<p>試験60%、各回の取り組み30%、最終課題10%を目安に総合的に評価する。 各回で課題を与え、それとは別に、最終課題を与える。 本学のルールにより、出席が3分の2に満たない場合には成績判定の対象となりません(単位取得は不可)。</p>
29. 再試験の有無	再試験は行わない。
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>課題はすべて期限内に提出する必要がある。提出のない課題がある場合、成績は「評価しない」または「不可」となる。 自学自習のために外部のサービスを利用することがある。 試験はオンラインで行うので、指定された時間に各自で適切な環境を準備する必要がある。6/6(土)午前に中間試験、7/25(土)午前に期末試験を予定しているので空けておくこと。</p>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	なし			<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	なし			<input checked="" type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	なし				<input checked="" type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等/本科目受講が必要となる資格等/資格取得該当科目	なし		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input checked="" type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 月曜 12:40-14:10			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	moodle			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先/学生相談場所/学生開示用メール	自大学 学生向け	moodle			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	moodle			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	本授業は「実務経験のある教員による授業科目」である。 高専、高等学校での実務経験のある教員による授業である				<input checked="" type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input checked="" type="checkbox"/>	
42. その他/備考	なし					

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) データ構造とアルゴリズム				
	(英文名) Data Structure and Algorithms				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし				
	(英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 河村 泰之				
	(ローマ字) KAWAMRUA Yasuyuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	2年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	2年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド遠隔授業		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	プログラミング言語I	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	プログラミング言語I (または、同等のもの)		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	データ構造、アルゴリズム、計算複雑度 Data Structure, Algorithms, Complexity of Computation				
21. 授業概要	「データ構造とアルゴリズム」はプログラミングを考える上で、長い間、基本とされてきた歴史があり、プロ グラミングのときに扱われるトピックの多くの基礎となっていることが多い。本講義では、プログラミング について考えるための基礎的な知識を学ぶ。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高等学校教科「情報」に関する教職科目である。プログラミングにするとときに計算複雑度を意識すること は非常に重要であるので、その考え方を身につける。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	アルゴリズムに関する代表的な話題(ソートなど)の知識をつける。 データ構造に関する基礎を身につける。 計算複雑度の考え方を身につけ、一連の作業にかかる複雑度を見積もることができる。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																										
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																										
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 ガイダンス 第2回 身のまわりのアルゴリズム 第3回 演習課題 第4回 アルゴリズムの工夫 第5回 ソート 第6回 再帰構造 第7回 再帰とクイックソート 第8回 計算複雑度 第9回 バケツソート 第10回 演習課題 第11回 データ構造の工夫 第12回 リストと配列 第13回 スタックとキュー 第14回 グラフと木構造 第15回 最終課題とまとめ			<input checked="" type="checkbox"/>																						
27. 授業時間外学習にかかわる情報	事前学習として30時間、事後学習として30時間 演習課題に関しては十分な時間を取ることが求められる。 計算複雑度に議論に関しては、高校数学レベルの知識は必須となる。			<input checked="" type="checkbox"/>																						
28. 成績評価の方法と基準	講義中に指定した提出物60%、最終課題40%を目安に、提出された課題と取り組み方等から総合的に評価する。			<input checked="" type="checkbox"/>																						
29. 再試験の有無	再試験は行わない。			<input checked="" type="checkbox"/>																						
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし			<input checked="" type="checkbox"/>																						
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	課題はすべて期限内に提出する必要がある。提出のない課題がある場合、成績は「評価しない」または「不可」となる。			<input checked="" type="checkbox"/>																						
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3">なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				書名	なし			教科書1	ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考						<input checked="" type="checkbox"/>
	書名	なし																								
教科書1	ISBN		著者名																							
	出版社		出版年																							
	金額		備考																							

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	データ構造			☑
		ISBN		著者名	浅野 哲夫	
		出版社	近代科学者	出版年	1992	
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				☐	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		☑	
37. 教員相互参観授業公開日程					☐	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 月曜 12:40-14:10			☑	
	連携大学 学生向け	moodle			☑	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	moodle			☑	
	連携大学 学生向け	moodle			☑	
40. 教員の実務経験について	本授業は「実務経験のある教員による授業科目」である。 高専、高等学校での実務経験のある教員による授業である				☑	
41. バリアフリー対応	非対応				☑	
42. その他／備考	なし					

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	双方向型遠隔授業・オンデマンド型遠隔 授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名)情報工学 I (英文名) Information Engineering I				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 福谷 遼太 (ローマ字) FUKUTANI Ryota				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部2年次生	
16. 曜日・時限	木曜5限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報とデータリテラシー	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	情報とデータリテラシー
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1) コンピュータ, (2) 情報, (3) ICT (1) Computer, (2) Information, (3) ICT				
21. 授業概要	情報技術の基本的な仕組みや動作原理について扱い、基本的な知識と技能を身につけることを図る。 前半は、コンピュータ内部および周辺の各機器について、役割や動作原理、規格などを扱う。 後半は、OSとアプリケーションや、セキュリティ、プログラム等の基本的な内容を扱う。 また、授業全体を通じてタッチタイピング等の操作技能についても扱う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	コンピュータやソフトウェア、ネットワークの基本的な構成と動作原理に関する知識を修得すること。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータや周辺機器の基本的な構成や規格について説明できる。 ● ソフトウェアやネットワークの基本的な仕組みについて説明できる。 ● プログラムの基本について説明できる。 ● 基本的なPC操作(タッチタイピング等)をおこなうことができる。 				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																					
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																					
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回:オリエンテーション／近年の情報技術</p> <p>第2回:教育の情報化</p> <p>第3回:コンピュータシステムの基本構成と動作原理</p> <p>第4回:論理回路とCPU</p> <p>第5回:記憶装置と周辺機器</p> <p>第6回:機器選定の実践① 機器の選定</p> <p>第7回:機器選定の実践② 選定した機器の発表</p> <p>第8回:コンピュータの歴史</p> <p>第9回:情報の表現</p> <p>第10回:OSとアプリケーション</p> <p>第11回:ネットワーク</p> <p>第12回:セキュリティ</p> <p>第13回:プログラムとアルゴリズム</p> <p>第14回:プログラミングによる問題解決① プログラムの作成</p> <p>第15回:プログラミングによる問題解決② 作成したプログラムの発表</p> <p>定期試験</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各回で扱うコンテンツに関するWeb上での情報収集			<input type="checkbox"/>																	
28. 成績評価の方法と基準	<p>期末試験(50%), 授業における課題への取り組み状況(40%), 授業における質問・発問への応答(10%)で総合的に評価します。</p> <p>注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合, 提出された課題は原則として採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																	
29. 再試験の有無	再試験は行わない。			<input checked="" type="checkbox"/>																	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし			<input checked="" type="checkbox"/>																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。			<input checked="" type="checkbox"/>																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="371 1906 1414 2101"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
教科書1	書名																				
	ISBN		著者名																		
	出版社		出版年																		
	金額		備考																		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名	基本を学ぶ コンピュータ概論(改訂2版)			<input type="checkbox"/>
		ISBN	978-4-274-22468-3	著者名	安井 浩之, 木村 誠聡, 辻 裕之	
		出版社	オーム	出版年	2019	
		金額	2,750	備考	https://www.ohmsha.co.jp/book/9784274224683/	
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	34. Webテキスト(URL・説明)	なし				
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目		なし	<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 電子メール (fukutani@kochi-u.ac.jp) で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 電子メール (fukutani@kochi-u.ac.jp) で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: fukutani@kochi-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Mail: fukutani@kochi-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	該当せず				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応					
42. その他／備考	なし					

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種別	双方向型遠隔授業・オンデマンド型遠隔授業	
5. 授業科目区分／科目分野 ／科目区分／区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コード ／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文名 ／英文併記	(日本語名)情報工学Ⅱ (英文名) Information Engineering II				
8. 副題(日本語・英語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員ローマ字表記)	(日本語) 福谷 遼太 (ローマ字) FUKUTANI Ryota				
10. 時間割コード／申請コード ／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区分	なし	
14. 対象学生	学部3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	火曜5限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報とデータリテラシー 情報工学Ⅰ	19. 関連科目(関連科目 コード番号)	自大学 学生向け	情報とデータリテラシー 情報工学Ⅰ
	連携大学 学生向け	情報工学Ⅰ		連携大学 学生向け	情報工学Ⅰ
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1) 情報, (2) コンピュータ, (3) ICT (1) Information, (2) Computer, (3) ICT				
21. 授業概要	情報デザインの基本理論や情報システムの動作に欠かせない技術や理論, 考え方を学ぶことを通して情報システムに関する基本的な知識・技能の習得を図る。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主題	情報システムに関する基本的な知識・技能の習得を図る。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報を伝える目的や手段, 方法, UIやレイアウト等を考慮して情報の受け手にとって適切なコンテンツを制作できる。 ● 情報システムの動作に欠かせない技術や理論, 考え方について説明できる。 ● 適切に動作するWebシステムを構築・実装できる。 				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																						
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回:オリエンテーション</p> <p>第2回:デジタル化</p> <p>第3回:情報デザイン</p> <p>第4回:情報デザインに基づく制作</p> <p>第5回:モデル化とシミュレーション</p> <p>第6回:プログラミング</p> <p>第7回:情報通信ネットワーク 情報セキュリティ</p> <p>第8回:法と権利</p> <p>第9回:データの活用</p> <p>第10回:情報システム</p> <p>第11回:Webシステムの制作① ~サーバ/HTML/CSS~</p> <p>第12回:Webシステムの制作② ~JavaScript~</p> <p>第13回:Webシステムの制作③ ~データベース~</p> <p>第14回:制作したWebシステムの発表</p> <p>第15回:先進技術 ~AI/VR等~</p> <p>定期試験</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																		
27. 授業時間外学習にかかわる情報	各回で扱うコンテンツに関するWeb等を通じた情報収集			<input type="checkbox"/>																		
28. 成績評価の方法と基準	<p>期末試験(50%), 授業における課題への取り組み状況(40%), 授業における質問・発問への応答(10%)で総合的に評価します。</p> <p>注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合, 提出された課題は原則として採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>																		
29. 再試験の有無	再試験は行わない。			<input checked="" type="checkbox"/>																		
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし			<input checked="" type="checkbox"/>																		
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間(開講時に通知する)内に提出すること。			<input checked="" type="checkbox"/>																		
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 15%;">書名</td> <td colspan="3">高等学校情報 教科書(令和8年度版)「実践 情報 I」</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td>本郷 健ほか</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>開隆堂</td> <td>出版年</td> <td>2026</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td>各自教科書会社等で調達</td> </tr> </table>				教科書1	書名	高等学校情報 教科書(令和8年度版)「実践 情報 I」			ISBN		著者名	本郷 健ほか	出版社	開隆堂	出版年	2026	金額		備考	各自教科書会社等で調達	<input type="checkbox"/>
教科書1	書名	高等学校情報 教科書(令和8年度版)「実践 情報 I」																				
	ISBN		著者名	本郷 健ほか																		
	出版社	開隆堂	出版年	2026																		
	金額		備考	各自教科書会社等で調達																		

				すること																																																	
33. 教科書・参考書に関する補足情報	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																				
	ISBN			著者名																																																	
	出版社			出版年																																																	
	金額		備考																																																		
参考書2	書名																																																				
	ISBN		著者名																																																		
	出版社		出版年																																																		
	金額		備考																																																		
参考書3	書名																																																				
	ISBN		著者名																																																		
	出版社		出版年																																																		
	金額		備考																																																		
34. Webテキスト (URL・説明)	なし				<input type="checkbox"/>																																																
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>																																																
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>																																																
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 電子メール (fukutani@kochi-u.ac.jp) で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>																																																
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 電子メール (fukutani@kochi-u.ac.jp) で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>																																																
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail: fukutani@kochi-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>																																																
	連携大学 学生向け	Mail: fukutani@kochi-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>																																																
40. 教員の実務経験について	該当せず				<input type="checkbox"/>																																																
41. バリアフリー対応	非対応																																																				
42. その他／備考	なし																																																				

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェックを入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 計測・制御システムの設計 (英文名) Measurement and control system design				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 大西義浩 (ローマ字) OHNISHI Yoshihiro				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	愛媛大学必修	
14. 対象学生	学部3年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド遠隔授業は曜日・時限は 関係なし。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	特になし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	特になし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	1. 情報システム(Information Systems) 2. アナログ信号とデジタル信号 (Analog and Digital Signals) 3. センサによる計測 (Measurement Using Sensors) 4. PID制御系設計 (PID Control System Design)				
21. 授業概要	本授業は、情報システムの概要を学んだ上で、システムの実例として、計測制御システムを取り上げ、 数学、電気、情報関連の知識をベースとして、身の回りの機器がどのような仕組みで動いているのかを 学ぶものである。現在、コンピュータの普及、低価格化に伴い、自動車や家電など多くの機器にコンピュ ータが組み込まれている。これらはセンサによって周囲の状況を計測し、その情報に基づいて制御を行 っている。システム全体がうまく動くような設計を考察する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	本授業では、情報システムの概要を学び、身のまわりの機器がどのように計測し、制御されているかを 理解する。アナログ信号とデジタル信号の違い、センサによる計測、システムの特長、PID制御系設計 などについて学習する。				<input checked="" type="checkbox"/>

23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの概要を理解する。 ・センサの役割とAD変換の原理を理解する。 ・システムのモデル化とその特性を理解する。 ・制御目的にあったPID制御のパラメータ調整ができる。 	☑
24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)		
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)		
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>すべてオンデマンド遠隔授業として実施する。</p> <p>第1回: ガイダンス</p> <p>第2回: 情報システムの概要</p> <p>第3回: ハードとソフト</p> <p>第4回: センサとAD変換の原理</p> <p>第5回: モデリングとシミュレーション</p> <p>第6回: システム同定</p> <p>第7回: システムの安定性</p> <p>第8回: 1次遅れ要素, 2次遅れ要素</p> <p>第9回: 制御系設計実習</p> <p>第10回: 比例制御実習</p> <p>第11回: 定常偏差と積分動作の実習</p> <p>第12回: 過渡特性の改善と微分動作の実習</p> <p>第13回: AIと計測制御システム</p> <p>第14回: 計測制御技術の応用とSociety5.0への貢献</p> <p>第15回: 最終レポート</p>	☑
27. 授業時間外学習 にかかわる情報	<p>事前学習として30時間、事後学習として30時間を必要とする。</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>2進数, 10進数, 微分積分, 複素数等, 高等学校数学での数学的知識を復習の上, 授業に臨むこと。</p>	☑
28. 成績評価の方法 と基準	<p>最終レポート(40%)および課題(60%)によって総合評価する。</p> <p>注1: 指定された期日を過ぎて課題を提出した場合, 提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。</p>	☑
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	☑
30. 受講の条件／先行科目 ／受講人数制限	受講人数制限: なし	☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は定められた期日内に提出すること。	☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	特になし。テキストは配布する。		<input checked="" type="checkbox"/>
33. 教科書・参考書に関する補足情報	特になし		<input checked="" type="checkbox"/>
34. Webテキスト(URL・説明)	愛媛大学Moodleを通じて指示する。 四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html		<input checked="" type="checkbox"/>
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	本授業では、微分積分、複素数に関して、高等学校数学Ⅱで扱う程度の数学的な知識を前提とする。 <input checked="" type="checkbox"/>
37. 教員相互参観授業公開日程			<input type="checkbox"/>
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(onishi.yoshihiro.my@ehime-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	なし		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	字幕つき動画を提供する。		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	双方向型遠隔授業・オンデマンド型遠隔 授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報システム開発演習				
	(英文名) Practice for Development of Information System				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし				
	(英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 道法 浩孝				
	(ローマ字) DOHO Hirotaka				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	双方向は木曜日5限(16:30～18:00) オンデマンドは曜日・時限は関係なし		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報工学 I	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	情報工学 I (42717)
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	コンピュータシステム, 計測・制御システム, 情報通信システム, ハードウェア, ソフトウェア				
21. 授業概要	情報システムとして, コンピュータシステム, 計測・制御システム, 及び情報通信システムを取り上げ, ハ ードウェアについての理論的な考察を行うとともに, 計測・制御システムの設計, ハードウェアの製作を 通した実装, 及びプログラミングを通したソフトウェア開発を, 実習を通して行う.				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	情報システムの構成及び動作の仕組みを理解するとともに, 計測・制御システムの設計・実装及びソフ トウェア開発を行う.				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンピュータシステム, 計測・制御システム, 及び情報通信システムの構成及び動作の仕組みが説明 できる. ・ 計測・制御システムの設計ができる. ・ 計測・制御システム製作・制作及び評価ができる. 				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																					
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回 オリエンテーションと情報システム 第2回 コンピュータシステムの構成 第3回 コンピュータシステムの動作の仕組み 第4回 計測と制御の仕組み 第5回 自動制御の仕組み 第6回 計測・制御システムの構成 第7回 計測・制御システムの動作の仕組み 第8回 情報通信システムシステムの構成 第9回 情報通信システムシステムの仕組み 第10回 計測・制御システムの設計 第11回 計測・制御システムの製作(センサとインタフェース部) 第12回 計測・制御システムの製作(アクチュエータ等とインタフェース部) 第13回 計測・制御システムの基本的ソフトウェア開発 第14回 計測・制御システムの応用的ソフトウェア開発 第15回 動作確認とデバッグを通じた計測・制御システムの評価 第16回 試験			□																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	【自学自習のためのアドバイス】 第1回～第9回 授業資料及び関連する文献の購読による復習 第10回 計測・制御システムの設計 第11回・12回 計測・制御システムの製作 第13回・14回 計測・制御システムのソフトウェア開発 第15回 計測・制御システムの評価			□																	
28. 成績評価の方法と基準	演習課題(20%), 計測・制御システムとプログラム(40%), 試験(40%)の成績を総合的に評価します.			□																	
29. 再試験の有無	再試験は行わない.			□																	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし 香川大学_名・徳島大学_名・鳴門教育大学_名・高知大学_名・愛媛大学_名 ※制限ありの場合、10名以上で設定			□																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は期限(開講時に通知する)までに提出すること			☑																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		□
教科書1	書名																				
	ISBN		著者名																		
	出版社		出版年																		
	金額		備考																		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				□
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	なし				□	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		□	
37. 教員相互参観授業公開日程					□	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー：火曜日3・4・5限			□	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー：特に設けない。電子メール(doho@kochi-u.ac.jp)で問い合わせること			□	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Mail : doho@kochi-u.ac.jp			□	
	連携大学 学生向け	Mail : doho@kochi-u.ac.jp			□	
40. 教員の実務経験について	該当せず				□	
41. バリアフリー対応	非対応				□	
42. その他／備考	なし				□	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	双方向型遠隔授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報通信ネットワーク論				
	(英文名) Information and communication networks				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし				
	(英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 太田憲治				
	(ローマ字) OTA Kenji				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次生		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	月曜日5限		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け		19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	
	連携大学 学生向け			連携大学 学生向け	
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	情報通信ネットワーク、インターネットセキュリティ、ワイヤレス通信技術, Information and communication networks, Internet security, Wireless Information Technology,				
21. 授業概要	身近にある通信機器がどのように通信を行っているかを理解する。また、情報ネットワークを実 践的に活用するために必要な基本的な知識および技術を修得する。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	スマートフォンや無線LANなどのワイヤレス通信やインターネットの仕組み・特徴を理解し、セキュリティ 対策を含むネットワークの構築・活用能力を養うこと、さらにはそれらを安全かつ効率的に活用する力を 育成することが主な目的である。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	1. 情報通信ネットワークの仕組みや特徴を正しく理解できる。 -スマートフォンや無線LANなどのワイヤレス通信の仕組みや特徴、セキュリティについて説明できる。 -インターネットの全般的な仕組みや特徴、およびセキュリティを確保するための手法を説明できる。 -基本的なネットワークの構築ができる。				<input type="checkbox"/>

	2. 情報ネットワークおよび提供されるサービスを効率的かつ安全に使用できる。	
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>授業計画</p> <p>第1回：ガイダンス、情報通信の基礎</p> <p>第2回：情報の伝送方法</p> <p>第3回：情報のスイッチング方法</p> <p>第4回：モバイル・ワイヤレス通信の基礎</p> <p>第5回：LANの概要とイーサネット</p> <p>第6回：ワイヤレスLANの概要</p> <p>第7回：インターネットの概要</p> <p>第8回：インターネットの通信プロトコル</p> <p>第9回：インターネットの通信プロトコル</p> <p>第10回：IPアドレスとルーティング</p> <p>第11回：ネットワーク構築（実習）</p> <p>第12回：ネットワーク構築（実習）</p> <p>第13回：インターネットのセキュリティ</p> <p>第14回：インターネットのセキュリティ</p> <p>第15回：期末試験</p>	<input type="checkbox"/>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>事前学習として15時間、事後学習として15時間程度。</p> <p>【事前学習】</p> <p>次回の講義で扱う内容に必要な最低限の知識を、インターネットなどを活用してあらかじめ調べておきましょう。</p> <p>【事後学習】</p> <p>配布した資料を活用し、講義内容の復習や課題に取り組んで理解を深めてください。</p>	<input type="checkbox"/>
28. 成績評価の方法と基準	授業毎に課される課題(50%)および期末試験(50%)の成績を総合的に評価します。	<input type="checkbox"/>
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	<input type="checkbox"/>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限：なし</p> <p>香川大学_名・徳島大学_名・鳴門教育大学_名・高知大学_名・愛媛大学_名</p>	<input type="checkbox"/>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>1 オンライン出席・遅刻扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> - 授業開始時刻までに所定の方法（Zoomへの入室）で参加すること。 - 遅刻や早退の場合は、事前に教員へ連絡をすること。 - 長時間の無断離席は禁止とする。やむを得ない事情がある場合はチャット等で許可を得る。 <p>2 カメラ・マイクの使用</p> <ul style="list-style-type: none"> - 必要に応じてカメラをオンにし、マイクのオン・オフを適切に使い分けること。 - 周囲の雑音が入らないようマイクの設定を管理し、話すとき以外は基本的にミュートにする。 <p>3 学習資料の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> - 資料をSNSやコミュニケーションツールへアップロードすることは禁止。 	<input type="checkbox"/>

	<ul style="list-style-type: none"> - 授業で提供されたデータやテキストは、個人学習以外の用途で無断使用しない。 <p>4 著作権・個人情報保護</p> <ul style="list-style-type: none"> - 授業内で紹介した画像・動画・音声・文書などに関する著作権を尊重する。 - 個人情報やプライバシーを含む内容を、不特定多数が閲覧できる場所に公開しない。 <p>5 学習課題・レポート提出</p> <ul style="list-style-type: none"> - 指定された提出期限を厳守する。遅延する場合は理由を添えて事前に教員へ相談する。 - レポートや課題の内容は自分の言葉でまとめ、他者の作品・文献を引用する際は出典を明記する(盗用・剽窃の禁止)。 <p>6 トラブルや不具合への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> - ネットワークやPC機器の不具合が発生した場合は、できるだけ早くメール等で教員に連絡する。 																																																					
<p>32. 教科書(購入の必要のある図書)</p>	<p>なし。授業時に資料を配布する。</p> <table border="1" data-bbox="371 645 1410 837"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>		教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>																																		
教科書1	書名																																																					
	ISBN			著者名																																																		
	出版社			出版年																																																		
	金額		備考																																																			
<p>33. 教科書・参考書に関する補足情報</p>	<table border="1" data-bbox="371 887 1410 1480"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書2</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">参考書3</td> <td>書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td>著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table> <p>必要に応じて、授業内で紹介する。</p>		参考書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書2	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		参考書3	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
参考書1	書名																																																					
	ISBN			著者名																																																		
	出版社			出版年																																																		
	金額		備考																																																			
参考書2	書名																																																					
	ISBN		著者名																																																			
	出版社		出版年																																																			
	金額		備考																																																			
参考書3	書名																																																					
	ISBN		著者名																																																			
	出版社		出版年																																																			
	金額		備考																																																			
<p>34. Webテキスト(URL・説明)</p>	<p>必要に応じて、授業内で紹介する。</p>		<input type="checkbox"/>																																																			
<p>35. パソコン必要度</p>	<p>必要</p>	<table border="1" data-bbox="786 1704 1417 1839"> <tr> <td style="text-align: center;">36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目</td> <td style="text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし	<input type="checkbox"/>																																																	
36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし																																																					
<p>37. 教員相互参観授業公開日程</p>			<input type="checkbox"/>																																																			
<p>38. オフィスアワー</p>	<p>自大学 学生向け</p>	<p>電子メール(k.ota@kochi-u.ac.jp)で問い合わせること。</p>	<input type="checkbox"/>																																																			
	<p>連携大学 学生向け</p>	<p>電子メール(k.ota@kochi-u.ac.jp)で問い合わせること。</p>	<input type="checkbox"/>																																																			

39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	電子メール(k.ota@kochi-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
	連携大学 学生向け	電子メール(k.ota@kochi-u.ac.jp)で問い合わせること。	<input type="checkbox"/>
40. 教員の実務経験について	該当せず		<input type="checkbox"/>
41. バリアフリー対応	非対応		<input type="checkbox"/>
42. その他／備考	なし		<input type="checkbox"/>

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) マルチメディア技術 (英文名) Multimedia Technology				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)なし (英文名)なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語)宮崎 英一 (ローマ字)Miyazaki Eiichi				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次生	
16. 曜日・時限	オンデマンド遠隔授業は曜日・時限は 関係なし。		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	情報リテラシーA、B	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	マルチメディア、画像処理、インタラクティブデザイン/Multimedia, Image Processing,, Interactive Design				
21. 授業概要	本講義は、高校専門教科「情報」の各科目において習得した知識とプログラミング技術を互いに連携 づけながら初歩的なマルチメディアを活用した作品の制作を行う。この制作において、従前に各科目で 習得した知識とプログラミング技術を生かしてマルチメディア技術の特性を生かした作品を制作し、これ を通じて情報の基礎的知識やプログラミング技術の体得を目指す。更には、本講義を通して実際の「情 報」授業に活用できる能力や態度を涵養する。				☑
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	最近、Society5.0やAIといった新しい情報世界が我々の日常生活に訪れている。これらの進展に伴い、 マルチメディア技術も日々急速に発展し続けており、学習指導要領の「マルチメディア表現」においても これらに対応できる人材の育成が望まれている。本講義では、基礎的なマルチメディア作品の制作を通 じて、今後のマルチメディア技術に対応できる人材の確立をめざす。				☑

23. 授業の到達目標／学修課題	1. マルチメディア技術の基礎的な知識を理解できる。 2. 基本的なマルチメディア作品を作成できる。 3. マルチメディアを通して情報社会の問題を考えることができる。	☑
24. ディプロマ・ポリシー（卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目）		
25. カリキュラムマップ（授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ）		
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	オンデマンド 第1回：マルチメディアの基礎、情報メディアの特性、情報メディアと社会 第2回：情報メディアの特性 第3回：メディア発達の歴史 第4回：アナログとデジタル 第5回：デジタルの特徴 第6回：数字と文字の表現 第7回：問題の発見・解決、： 第8回：コミュニケーション 第9回：マルチメディア技術 第10回：個人情報の保護と管理、 第11回：知的財産権、著作権 第12回：Webでのマルチメディア活用 第13回：プレゼン・授業支援ツールの活用 第14回：動画編集 第15回：最終課題（教育的または社会的に有用なコンテンツを企画・制作）	☑
27. 授業時間外学習にかかわる情報	事前学習として30時間、事後学習として30時間 第2回～第11回 オンデマンドを視聴して自分で資料を探し、各課題に回答する。（20時間） 第12回～第14回 オンデマンドを視聴して基本を学び、それを拡張したコンテンツを作成する（10時間） 第15回 自分で問題を見つけ、それを解決できるプログラムを作成し、発表する準備、練習を行う。（20時間）	☑
28. 成績評価の方法と基準	授業毎に課される課題（50%）および最終課題（50%）の成績を総合的に評価します。 注1：指定された期日を過ぎて課題を提出した場合、提出された課題は採点の対象外となる。必ず期日内に提出すること。	☑
29. 再試験の有無	再試験は行わない。	☑
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限：なし 香川大学_名・徳島大学_名・鳴門教育大学_名・高知大学_名・愛媛大学_名 ※制限ありの場合、10名以上で設定	☑
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	授業毎に課される課題は受講期間（開講時に通知する）内に提出すること。	☑

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要、WEBカメラ機能を有するもの タブレットでは操作不可な課題があります。	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等 ／資格取得該当科目	なし		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(miyazaki.eiichi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	オフィスアワー: 特に設けない。電子メール(miyazaki.eiichi@kagawa-u.ac.jp)で問い合わせること。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	miyazaki.eiichi@kagawa-u.ac.jp			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	miyazaki.eiichi@kagawa-u.ac.jp			<input checked="" type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	なし				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されません)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	教育学部		4. 授業形態／授業種 別	双方向	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) デジタル画像処理 (英文名) Digital Image Processing				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) なし (英文名) なし				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 黒田 勉 (ローマ字) Tsutomu Kuroda				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	学部3年次・教育学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部3年次	
16. 曜日・時限	時間外(水曜日16:30~18:00)		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	(1)画像入出力, (2)画像処理, (3)画像解析 (1)Image Input/Output, (2) Image Processing, (3) Image analysis				
21. 授業概要	デジタル画像処理とは、コンピュータが取得した画像情報を読み取り、各種処理を通してユーザーに認識させることである。このとき、画像の取得から処理の仕組みまで概説する。さらに3次元グラフィックスの基本的試行について解説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	デジタル画像処理とは、コンピュータで認識した画像に様々な処理を施すことによってその画像に含まれる情報を読み取る技術であり、種々の情報処理システムにおいて広く用いられている。ここでは、画像情報処理の基本について概説する。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	画像情報処理の基本について様々な手法を理解し、生徒に説明できるように理解する。				<input checked="" type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)																					
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回:本講義の意義と目的について知る</p> <p>第2回:画像処理の基本1, デバイスの概要</p> <p>第3回:画像処理の基本2, 計測環境と照明</p> <p>第4回:画像処理の基本3, 色彩</p> <p>第5回:基本的な画像処理手法1, 輝度分布(ヒストグラム)</p> <p>第6回:基本的な画像処理手法2, 二値化, 多極化画像</p> <p>第7回:基本的な画像処理手法3, 画像の数学的考察</p> <p>第8回:基本的な画像処理手法4, 雑音除去(平滑化処理, ノイズフィルタ)</p> <p>第9回:基本的な画像処理手法5, エッジ処理(微分), 細線化, 輪郭線抽出</p> <p>第10回:基本的な画像処理手法6, 各種フィルタ</p> <p>第11回:点, 直線の画像認識手法</p> <p>第12回:各種形状の画像認識手法</p> <p>第13回:2次元画像処理の応用</p> <p>第14回:3次元画像処理(コンピュータグラフィックスの基礎)</p> <p>第15回:3次元画像処理(CADにおける論理演算)</p>																				
27. 授業時間外学習にかかわる情報	自分たちが普段何気なく行っている, 「画像エフェクト」, 「画像加工」がどのようにして行われているか, の「どのように」に着目して, 興味を持って頂きたい.																				
28. 成績評価の方法と基準	講義時における課題の提出とその結果による																				
29. 再試験の有無	なし(試験は行わない)																				
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし																				
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>レポート提出時に, 生成型AI等を使用した場合, 明記すること.</p> <p>プログラミングが必要な場合, 生成型AIを活用してもかまわない.</p>																				
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" data-bbox="368 1823 1414 2018"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">教科書1</td> <td>書名</td> <td colspan="3">画像認識システム学</td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td>9784320086227</td> <td>著者名</td> <td>大崎 紘一</td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td>共立出版</td> <td>出版年</td> <td>2005</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>2860</td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名	画像認識システム学			ISBN	9784320086227	著者名	大崎 紘一	出版社	共立出版	出版年	2005	金額	2860	備考	
教科書1	書名	画像認識システム学																			
	ISBN	9784320086227	著者名	大崎 紘一																	
	出版社	共立出版	出版年	2005																	
	金額	2860	備考																		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				□
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				□	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()		<input checked="" type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					□	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	木曜日18時～19時			<input checked="" type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	(Skype等webで対応できる場合のみ) 必要に応じてメールください。			<input checked="" type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	kuroda.tsutomu@kagawa-u.ac.jp			□	
	連携大学 学生向け	kuroda.tsutomu@kagawa-u.ac.jp			□	
40. 教員の実務経験について	なし				□	
41. バリアフリー対応	非対応				□	
42. その他／備考	なし				□	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	前期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド型・オンライン同期型の複合	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報科教育特論				
	(英文名) Special seminar of Instructional Design of Informatics Education in Senior High school				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 黒田 昌克				
	(ローマ字) KURODA Masakatsu				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	学部1・2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1・2年次	
16. 曜日・時限	夏期集中講義期間		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	高校, 情報科, 学習内容, カリキュラム, 教材				
21. 授業概要	高等学校共通教科「情報」の目標、学習内容、カリキュラム構成の考え方などを講義すると共に、具体的な教材研究について演習を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高等学校共通教科「情報」の目標、学習内容、カリキュラム構成の考え方などを理解し、具体的な教材が作成できるようになること。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	高等学校共通教科「情報」の実践に向けた基礎的な指導力を習得するために、学習内容を理解し、題材設定、教材研究の視点を身につける。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																						
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回:【講義】ガイダンス, 情報科の概要(オンライン同期/オンデマンド)</p> <p>第2回:【講義】情報社会の問題解決(オンデマンド)</p> <p>第3回:【講義】コミュニケーションと情報デザイン①(オンデマンド)</p> <p>第4回:【演習】情報社会の問題解決に関するマイクロティーチングに向けた教材研究(オンライン同期)</p> <p>第5回:【演習】情報社会の問題解決に関するマイクロティーチング①(オンライン同期)</p> <p>第6回:【演習】情報社会の問題解決に関するマイクロティーチング②(オンライン同期)</p> <p>第7回:【講義】コミュニケーションと情報デザイン②(オンデマンド)</p> <p>第8回:【演習】コミュニケーションと情報デザインに関するコンテンツ作成(オンライン同期)</p> <p>第9回:【演習】コミュニケーションと情報デザインに関するコンテンツの発表(オンライン同期)</p> <p>第10回:【講義】情報ネットワークとデータの活用(オンデマンド)</p> <p>第11回:【演習】データの分析及び活用の演習①(オンライン同期)</p> <p>第12回:【演習】データの分析及び活用の演習②(オンライン同期)</p> <p>第13回:【講義】コンピュータとプログラミング(オンデマンド)</p> <p>第14回:【演習】プログラミングによる問題解決(オンライン同期)</p> <p>第15回:【演習】プログラミングによる問題解決の発表(オンライン同期)</p>				<input checked="" type="checkbox"/>																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>事前学習として30時間、事後学習として30時間</p> <p>【自学自習のためのアドバイス】</p> <p>授業内で提示された課題に対して、関連情報を収集し、それらを整理・統合するとともに、自分なりの教育的解釈を深めつつ、成果物等を作成するようにして下さい。</p>				<input type="checkbox"/>																	
28. 成績評価の方法と基準	演習課題及びマイクロティーチング60%、授業における活動状況及びリフレクション40%				<input checked="" type="checkbox"/>																	
29. 再試験の有無	無				<input type="checkbox"/>																	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし				<input type="checkbox"/>																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	特になし				<input type="checkbox"/>																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="text-align: center;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ISBN</td> <td></td> <td style="text-align: center;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">出版社</td> <td></td> <td style="text-align: center;">出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td></td> <td style="text-align: center;">備考</td> <td></td> </tr> </table>				教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
教科書1	書名																					
	ISBN		著者名																			
	出版社		出版年																			
	金額		備考																			

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。 連絡、問い合わせ等は電子メール(アドレスは第1回で伝達)にて受け付けます。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	特に設けない。 連絡、問い合わせ等は電子メール(アドレスは第1回で伝達)にて受け付けます。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	兵庫教育大学 黒田 昌克 電子メール: アドレスは第1回で伝達			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	兵庫教育大学 黒田 昌克 電子メール: アドレスは第1回で伝達			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	該当せず				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026年度		2. 開講学期	後期集中	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド型・オンライン同期型の複合	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報科教育授業論 (英文名) Basis of Instructional Design of Informatics Education in Senior High school				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名) (英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 黒田 昌克 (ローマ字) KURODA Masakatsu				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2単位		13. 選必区分／単位区 分	選択	
14. 対象学生	学部1・2年次生・全学部		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	学部1・2年次	
16. 曜日・時限	冬期集中講義期間		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード (3 つ以上5つ以下)	高校, 情報科, 教材, 授業設計				
21. 授業概要	高等学校共通教科「情報」の授業デザイン, 指導計画の立案方法, 学習評価の考え方などを講義する と共に、マイクロティーチングについて演習を行う。				<input checked="" type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	高等学校共通教科「情報」の授業デザイン, 指導計画の立案方法, 学習評価の考え方などを理解し, 具 体的な授業のデザインができるようになること。				<input checked="" type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	高等学校共通教科「情報」の実践に向けて、授業デザイン, 学習評価の視点を身につけ, 学習指導案と して具体化できる力を習得する。				<input checked="" type="checkbox"/>
24. ディプロマ・ポリシ ー(卒業時の到達目 標・共通教育の理念・ 教育方針に関わる項 目)					

25. カリキュラムマップ(授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)																					
26. 授業スケジュール／授業計画並びに授業及び学習の方法	第1回:【講義】ガイダンス, 情報教育を取り巻く動向(オンライン同期/オンデマンド) 第2回:【講義】インストラクショナルデザインの理論(オンデマンド) 第3回:【講義】学習評価をデザインする(オンデマンド) 第4回:【演習】情報 I の実践事例調べ①(オンライン同期) 第5回:【演習】情報 I の実践事例調べ②(オンライン同期) 第6回:【演習】実践事例の発表(オンライン同期) 第7回:【講義】学習指導案における目標, 題材設定(オンデマンド) 第8回:【講義】学習指導案における学習観, 単元計画等(オンデマンド) 第9回:【講義】学習指導案における本時の指導計画(オンデマンド) 第10回:【講義】学習指導案における本時の評価等(オンデマンド) 第11回:【演習】学習指導案の作成(オンライン同期) 第12回:【演習】マイクロティーチングの準備(オンライン同期) 第13回:【演習】マイクロティーチング①(オンライン同期) 第14回:【演習】マイクロティーチング②(オンライン同期) 第15回:【講義】ふりかえり・全体のまとめ(オンライン同期)			<input checked="" type="checkbox"/>																	
27. 授業時間外学習にかかわる情報	事前学習として30時間、事後学習として30時間 【自学自習のためのアドバイス】 授業内で提示された課題に対して、関連情報を収集し、それらを整理・統合するとともに、自分なりの教育的解釈を深めつつ、成果物等を作成するようにして下さい。			<input type="checkbox"/>																	
28. 成績評価の方法と基準	演習課題及びマイクロティーチング60%、授業における活動状況及びリフレクション40%			<input checked="" type="checkbox"/>																	
29. 再試験の有無	無			<input type="checkbox"/>																	
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	受講人数制限:なし			<input type="checkbox"/>																	
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	特になし			<input type="checkbox"/>																	
32. 教科書(購入の必要のある図書)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">教科書1</td> <td style="width: 20%;">書名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>ISBN</td> <td></td> <td style="width: 15%;">著者名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>出版社</td> <td></td> <td>出版年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td></td> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			教科書1	書名				ISBN		著者名		出版社		出版年		金額		備考		<input type="checkbox"/>
教科書1	書名																				
	ISBN		著者名																		
	出版社		出版年																		
	金額		備考																		

33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト (URL・説明)	四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	なし		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	特に設けない。 連絡、問い合わせ等は電子メール(アドレスは第1回で伝達)にて受け付けます。			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	特に設けない。 連絡、問い合わせ等は電子メール(アドレスは第1回で伝達)にて受け付けます。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	兵庫教育大学 黒田 昌克 電子メール: アドレスは第1回で伝達			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	兵庫教育大学 黒田 昌克 電子メール: アドレスは第1回で伝達			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	該当せず				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	

シラバス基本情報

【記入要領】

1. 下記の**緑色部分**をご記入ください。(記入内容が無い場合は空白とせず無しと記入)
2. **グレー部分**は大学ごとに異なるため必要に応じて個別に対応をお願いする項目です。
3. **白色部分**はあらかじめ想定内容を記入しています。
4. 教員から学生へ必ず伝えてほしい内容についてはチェックボックスへチェック☑を入れて下さい。(各大学のシラバスに必ず記載されま
す)

1. 開講年度	2026		2. 開講学期	前期	
3. 開講学部・学科等 ／区分等	学校教育学部		4. 授業形態／授業種 別	オンデマンド遠隔授業・対面授業	
5. 授業科目区分／科 目分野／科目区分／ 区分等	四国5大学による連携教職課程科目		6. DPコード／分野コー ド／科目ナンバリング		
7. 科目名／科目英文 名／英文併記	(日本語名) 情報科教育法1				
	(英文名) Teaching Method of Information Study				
8. 副題(日本語・英 語)	(日本語名)				
	(英文名)				
9. 担当教員名(教員 ローマ字表記)	(日本語) 黒田 勉、河村 泰之				
	(ローマ字) KURODA Tsutomu, KAWAMURA Yasuyuki				
10. 時間割コード／申 請コード／授業コード			11. 昼夜		
12. 単位数	2		13. 選必区分／単位区 分	なし	
14. 対象学生	3年次		15. 対象年次／区分等 ／標準履修年次	3～	
16. 曜日・時限	集中		17. 講義室		
18. 履修推奨科目	自大学 学生向け	なし	19. 関連科目(関連科 目コード番号)	自大学 学生向け	なし
	連携大学 学生向け	なし		連携大学 学生向け	なし
20. 授業のキーワード ／英文キーワード(3 つ以上5つ以下)	情報教育、学習指導案、教材 Information Education, Lesson Plan, Teaching Material				
21. 授業概要	高等学校「情報」の免許取得に必修の科目である。教科「情報」の成り立ちを概観し、情報教育に求められていることを学ぶ。また、教科で扱う内容の基本事項を確認する。その上で、指導案を作成し、授業づくりについてポイントを整理する。				<input type="checkbox"/>
22. 授業の目的及び 主旨／授業科目の主 題	共通教科情報科の科目「情報」で扱う内容、専門教科「情報」で扱う内容に関して、必要となる知識を把握し授業を設計することを学ぶ。				<input type="checkbox"/>
23. 授業の到達目標 ／学修課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校の教科「情報」の教育目標を理解する ・小中学校との関連、総合的学習における位置づけなどを意識し、情報社会における教育課題に対応できる高校教員になるための態度を養う ・指導案の作成を通して、教科「情報」の授業設計力を修得する。 				<input type="checkbox"/>

24. ディプロマ・ポリシー (卒業時の到達目標・共通教育の理念・教育方針に関わる項目)	
25. カリキュラムマップ (授業科目の主題・授業科目の到達目標とカリキュラムマップ)	
26. 授業スケジュール ／授業計画並びに授業及び学習の方法	<p>第1回 ガイダンス, 学習指導要領の概説と教員養成の仕組み</p> <p>第2回 情報科の成立過程と科目編成</p> <p>第3回 「情報I」で扱う内容</p> <p>第4回 「情報I」での学習</p> <p>第5回 「情報II」で扱う内容</p> <p>第6回 「情報II」での学習</p> <p>第7回 指導計画案の作り方</p> <p>第8回 指導案の検討, 指導上の注意や指導内容のポイント整理</p> <p>第9回 教育現場での評価方法、成績について</p> <p>第10回 専門教科「情報」で扱う内容:「情報産業と社会」を中心に</p> <p>第11回 専門教科「情報」で扱う内容:「情報の表現と管理」を中心に</p> <p>第12回 専門教科「情報」で扱う内容:「情報セキュリティ」を中心に</p> <p>第13回 専門教科「情報」で扱う内容:「情報テクノロジー」を中心に</p> <p>第14回 課題の評価</p> <p>第15回 まとめ</p>
27. 授業時間外学習にかかわる情報	<p>本授業科目の学習時間90時間であり、講義時間は約22.5時間を予定している。それ以外の時間(67.5時間)は、事前事後学習、課題などに充てる。</p>
28. 成績評価の方法と基準	<p>複数回の課題(100%)によって総合評価する。</p> <p>ただし、課題の内容や取り組み方により、減点することがある。</p> <p>本学のルールにより、出席が3分の2に満たない場合には成績判定の対象となりません(単位修得は不可)。</p>
29. 再試験の有無	<p>再試験は行わない</p>
30. 受講の条件／先行科目／受講人数制限	<p>受講人数制限:なし</p> <p>一部対面授業である。場所は愛媛大学で行い、直接の参加がかなわない場合はオンライン(Teamsを予定)での参加も可能なハイブリッド形式とする。6月20日と7月11日に実施予定です。日程の変更がある場合は決定次第連絡します。</p>
31. 受講のルール履修上の注意・担当教員からのメッセージ／履修希望学生に求めるもの	<p>6月20日と7月11日に対面授業の予定である。必ず空けておくこと。</p> <p>授業で課された課題は必ず期限内に提出すること</p>

32. 教科書(購入の必要のある図書)	教科書1	書名	「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編」			<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名	文科省	
		出版社		出版年		
		金額		備考		
33. 教科書・参考書に関する補足情報	参考書1	書名				<input type="checkbox"/>
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書2	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
	参考書3	書名				
		ISBN		著者名		
		出版社		出版年		
		金額		備考		
34. Webテキスト(URL・説明)	Moodle を利用します 四国5国立大学による連携教職課程ホームページ https://shikoku-5university-network.or.jp/business/02/renkeikyou.html				<input type="checkbox"/>	
35. パソコン必要度	必要	36. 資格等／本科目受講が必要となる資格等／資格取得該当科目	教職・その他()		<input type="checkbox"/>	
37. 教員相互参観授業公開日程					<input type="checkbox"/>	
38. オフィスアワー	自大学 学生向け	黒田(香川大) メールで随時 河村(愛媛大) 月曜 12:40-14:10			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	特に設けない。Moodle に連絡先を記載する。			<input type="checkbox"/>	
39. 連絡先／学生相談場所／学生開示用メール	自大学 学生向け	Moodle に記載			<input type="checkbox"/>	
	連携大学 学生向け	Moodle に記載			<input type="checkbox"/>	
40. 教員の実務経験について	本授業は「実務経験のある教員による授業科目」である。				<input type="checkbox"/>	
41. バリアフリー対応	非対応				<input type="checkbox"/>	
42. その他／備考	なし				<input type="checkbox"/>	